

日本会議岩手結成宣言

志ある岩手県民の皆さん！

今日は、新しい一歩を進める記念すべき日であります。

日本の悠久の歴史に育まれた伝統と文化を継承し、国の栄光と自主独立を堅持して、ひいては、世界の平和にも貢献することを目的とした全国組織「日本会議」が、遂に我が岩手県にも結成されました。

歴史を顧みますと、岩手は多くの偉人を生みました。「武士道」の著者「新渡戸稲造」により、日本人の美しい生き方が、世界に広く理解され、先の東日本大震災における、世界の称賛と言う形でも理解されました。世界の人々の幸せを願った「宮沢賢治」。台湾総督府民政長官として名を馳せた「後藤新平」は東京市長として都市計画を成案し、直後の関東大震災では、復興院総裁を務めた人でありました。晩年は政治の倫理化を唱え、まさに、今、岩手の復興は先人達の遺徳によって成されようとしているものであります。

艱難に耐えながら、人々の暮らしを書き綴った「石川啄木」。日本国語学の第一人者、「金田一京助」。格調高い岩手の風土からは、平民宰相「原敬」を始め、五人の総理を輩出した県としても、全国民の知るところであります。

この岩手の風土は、衆生の救済に思いを寄せる浄土思想を確立された藤原三代によってその礎が築かれ、その文化的価値は世界遺産登録へと、世界が認めるものになりました。岩手県は、国家を支えた多数の有為な人材を生み出し、常にこの国の行く末に強い情熱を持ち続けてきました。

我々は、郷里の先人の業績と志とを受け継ぎ、未曾有の国難の時代に「岩手から誇りある日本」を再建すべく、ここに、「日本会議岩手県本部」の結成を宣言するものであります。

平成24年7月22日

日本会議岩手結成大会